

伝統技術を引きつぐ

このページの目標

おきなわ 沖縄県で、琉球王国時代から続く伝統技術を引きつぐ取り組みが進んでいます。取り組みの内容や、育成された職人に期待されていることについて学び、日本の伝統技術を残すためにはどうするべきかを考えましよう。

答え

伝統技術を引きつぐ

【琉球王国】
現在（16）の琉球を統一した国よ。首里（現の那覇市）を首都とした。1609年、薩摩藩（現在の鹿児島県）に征服されて、琉球を設置したことで滅亡したわ。



沖縄で職人を育成



（右）職人を教える職人の様子（左）職人の様子（2021年3月、琉球文化財団）

2021年5月2日撮影

1 琉球王国時代から続く赤瓦づくりに漆塗りの伝統技術を引きつぐと、沖縄県で職人を育成する取り組みが進んでいる。技術を活用する機会が減り、職人の育成が難しい状況が続いている。火災で焼失した、首里城の再建、その後の修復にもつなげたい考えだ。

2 2021年3月、与那原町の瓦工場で、男女5人が赤く焼き上がった瓦の生産を確認していた。5人は、「一般財団法人琉球文化財団」が主催するために始めた事業の参加者。4カ月かけて赤瓦の手づくりの製法を学んできた。講師を務める同工場の社長（1）は「いよいよ焼き上がった。実際に使えるものではないが、初めてでは出来」と声をかけた。

3 今回の育成事業は、琉球文化財団が文化庁から約600万円の

上の記事を読んで後の問いに答えましよう。

1 沖縄県で伝統技術の職人が育成されるのは、どんな状況があるためですか。また、この取り組みにはどんなことが期待されていますか。それぞれ記事を参考に書きましよう。

状況

例 技術を活用する機会が減り、職人の育成が難しい状況が続いているため。

例 火災で焼失した首里城の再建や、その後の修復にもつなげること。

2 「沖縄美ら島財団」の取り組みについてまとめた次の文章の□に当てはまる言葉を、記事の中から抜き出ましよう。

研究室を充足させて 琉球王国 時代の美術などを調査研究してきた。人材育成や 技術継承 が重要であると感じ、2020年から職人の 育成事業 を始めた。

天声人語 ことば力

解答

- ① 経由 ② 要請
- ③ 足
- ④ 例 家が出るやいなや、雨が降り始めた。
- ④ 例 脳の働きが悪くなり、日常生活が正常に送れない状態。

解答のポイント

それぞれ、次のようなポイントが読み取れているかを確認ましよう。



1

・それぞれ模範解答と同じような内容であれば正解。



2

○第1段落にあるように、琉球王国時代の「伝統技術を引きつぐ」と、沖縄県で職人を育成する取り組みが進んでいます。「技術を活用する機会が減り、職人の育成が難しい状況が続いているためです。取り組みを進めることで、「火災で焼失した首里城の再建、その後の修復」にもつなげることが期待されています。



3

・それぞれ解答通り。



4

○第2～4段落にあるように、沖縄美ら島財団は琉球王国時代の美術などを調査研究する「琉球文化財研究室」を2015年に充足させました。そのなかで「人材育成や技術継承の重要性を痛感」し、2020年から職人の育成事業を始めました。



5

・解答通り。

○第7段落にあるように、沖縄でも伝統的な瓦づくりの「技術を受けついだ職人はわずかで、貴重」です。

補助を受けて、2020年秋から始めた。

4財団は琉球王国時代の歴史や美術、工芸品などの調査研究を担う「琉球文化財研究室」を、2015年に発足。首里城を始めとする様々な文化財の修復や復元にかかわるなかで、人材育成や技術継承の重要性を痛感していたという。

5課題は、職人たちの仕事の不安定さ。古い建造物の修復などは頻繁に急ぎの作業が必要で、技術を身につけることが難しくなっている。赤瓦は、県南部特有の「泥岩」や「クチャ」と赤土などを混ぜてつくった粘土を焼くことででき、首里城などに使われている。現在はほとんどこの工程が機械化されているが、古い建造物の修復などには手づくりの瓦が使われることもあった。

7県立芸術大学の教授によると、沖縄では明時代の中国から伝わった瓦の制作技術が残る一方、中国ではほとんど技術が残っていない。沖縄でも、技術を受けついで職人はわずか、貴重だという。育成事業は、2001年度も予定されている。より専門的な技術者育成のため、2年以上の「カリキュラム」についても検討していくという。参加者は、首里城の再建や修復のほか、県内の伝統的な建造物の修復にかかわることを期待しているという。

9財団の琉球文化財研究所の担当者は「このままでは間違いなく消えていってしまう技術がある。それを引きつぎ、職人たちが切磋琢磨できる場をつくりたい」と話す。

調べるべきポイント
漆塗り／痛感／頻繁／泥岩／カリキュラム／切磋琢磨

3赤瓦と沖縄の瓦づくりの技術に関する説明として正しいものを、次のア～エから一つ選び、()の中に○を書きましよう。

ア() 沖縄でも、伝統的な瓦づくりの技術や職人は貴重である。

イ() 赤瓦はほとんどの工程が手づくりで、古い建造物の修復などに使われることもある。

ウ() 沖縄の伝統的な瓦づくりの技術は明時代の中国から伝わり、今でも中国に技術が完全に残っている。

エ() 赤瓦の材料となる粘土は、沖縄県南部特有の泥岩と、赤土「クチャ」などを混ぜてつくられる。

4沖縄美ら島財団は、育成した職人にどのようなことを期待していますか。記事をもとに書きましよう。

例 首里城の再建や修復のほか、県内の伝統的な建造物の修復にかかわること。

5沖縄以外にも、日本には伝統技術がたくさんあります。こうした技術を残すためには、どうすべきだと思いますか。あなたの考えを書きましよう。

例 国や自治体は、職人の育成に取り組む団体を支援して伝統技術の担い手を確保し、技術を生かせる機会を増やすべきだ。

調べるべきポイント
琉球王国の歴史について調べよう。

調べるべきポイント
漆塗り ウルシの樹液から作られる漆という塗料を器などに塗ること。漆を塗ると木の製品が長持ちするほか、質感や光沢が美しくなるため美術工芸として発展してきた。
痛感 強く心に感じる事。
頻繁 繰り返して行われる様子。たびたび起こる様子。
泥岩 泥や粘土が長い間におし固められてきた岩石。
カリキュラム 目的に合わせて教育の内容などを計画したもの。
切磋琢磨 仲間同士が励まし合って、技術や学問の向上に努めること。

○イ・エは、第6段落にあるように、「赤瓦は、県南部特有の泥岩『クチャ』と赤土などを混ぜてつくった粘土を焼くこと」でできます。「現在はほとんどの工程が機械化されて」いますが、「古い建造物の修復などには手づくりの瓦が使われること」もあります。ウは、第7段落にあるように、沖縄の伝統的な瓦づくりの技術は明時代の中国から伝わりましたが、「中国ではほとんど技術が残って」いません。

4 模範解答と同じような内容であれば正解。

○第8段落にあるように、沖縄美ら島財団は、より専門的な技術者育成を検討しています。参加者には「県内の伝統的な建造物の修復にかかわることを期待して」います。

○日本の伝統技術を残すためにはどうするべきだと思いますか、自分の意見を書きましよう。

○第9段落にあるように、沖縄美ら島財団の担当者は、このままでは間違いなく消えていってしまう技術を「引きつぎ、職人たちが切磋琢磨できる場をつくりたい」と話しています。沖縄以外でも日本の伝統技術を残すために、国や自治体は、職人の育成に取り組む団体を支援して伝統技術の担い手を確保し、技術を生かせる機会を増やすべきだと考えられます。